

東光原 NewsLetter

No.30
2019.7



第12回 熊本大学 東光原文学賞

目次

- 🦋 巻頭 新図書館長挨拶 2p
- 🦋 図書館TAの紹介 2p
- 🦋 特集 医学系分館 ラーニングカフェ 3p
- 🦋 学生選書員 選書ツアー 3p
- 🦋 第12回熊本大学東光原文学賞 募集要項 4p
- 🦋 図書館のできごと 4p
- 🦋 学生企画展示 4p

募集開始

巻頭
新図書館長
挨拶

やまだ ひでし

附属図書館長 山田 秀

2019年4月1日に附属図書館長に就任いたしました山田と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。所属は法学部。専攻は法哲学です。それも伝統的自然法論という長い歴史を有する学派の無尽蔵ともいえる遺産の中で研究をしています。ごく最近、『人間と社会—自然法研究—』という研究書を公刊しました。その「あとがき」にも書いていることですが、私たち人間は、一人では生きていませんし、そもそもそんなことは不可能です。わかり切ったことですが、軽視しがちではないかなと感じることもあります。

図書館というと、皆さんは何を考えますか？ 書籍がたくさんある。そうですね、図書書籍の館が図書館ですからね。あるいは、次のようにイメージする学生もいるかも知れません。授業と授業の間の時間を有意義に過ごすことができるいわばオアシスのような場所である。そのほかに、調べ物をするときにとても有益であるとか。しかし調べものなら、最近ではスマートフォンとかiPadなどでとても簡単に検索できるでしょう。皆さんも活用しているのではないですか。それでも、図書館には図書館にしかない魅力が包蔵されているのです。

人類が長い時間をかけて精魂を注いで築き上げてきた知的遺産が厚みと幅と重みを以て皆さんを迎えてくれるはずですよ。書籍の森の中に身を置いて、本と語り合って、そこから多くの様々な刺戟を各人各様に受け止めながら自己成長を促される。これほど有り難いことは滅多にないのではないのでしょうか。人類の知的遺産から受け継ぐ多くのものに貴方なりの新しいものをまた付け加えて人類社会にプレゼントしていく。そうした積み重ねの中で私たちの世界、文化は発展してきました。その壮大な歴史的運動の一角を占めているのだと思うとワクワクしないでしょうか。

さて、今年度も第12回「東光原文学賞」を設置し、作品を募集します。多くの意欲的な小説原稿の応募をお待ちしています。応募される皆さんの構想力や表現力、ユーモアなど表現者としての魅力を存分に満喫させてもらえることでしょう。募集要項をご覧の上で奮ってご応募ください。今から楽しみです。

一人でも多くの皆さんが図書館に親しんでくださることを切に願ひまして、新館長挨拶といたします。

Topic 本年度 図書館TAを紹介します
Teaching assistants

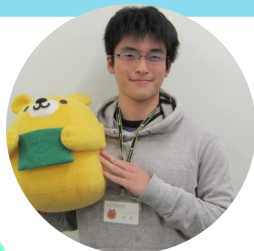
佐藤 允彦

自然科学教育部
(情報電気工学)
岡山出身 特技:卓球



牟田 鴻志

自然科学教育部
(社会環境工学)
兵庫出身 趣味:バイクツーリング



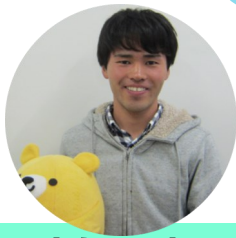
中島 駿介

社会文化科学教育部
(文化学/歴史)
鳥栖出身 趣味:弓道



古賀 聖人

自然科学教育部
(土木建築学)
久留米出身 好物:麻婆豆腐



龍 輝優

自然科学教育部
(情報電気電子工学)
福岡出身 特技:サッカー



山本 大地

自然科学教育部
(機械システム工学)
福岡出身 趣味:ランニング



図書館TA あらゆる学習相談、おまかせください

図書館TAは、学習支援、IT機器のサポートのみならず、レポート作成やプレゼンまたは資料検索の指導と助言、留学生サポートなど、学習を支援するあらゆる相談をうけつけています。

新入生「総合教養講座 図書館活用法」では、講師として図書館の活用法をアピールしました。さらに春には、留学生・3年次編入生向けに図書館ツアーを実施。相談者の希望に沿った内容と英語でのきめ細かい個別ツアーは大好評でした。また、展示中の「大学院生の日」「卒論体験記」では、現院生だからこそリアルな体験やアドバイスが光っています。大学院って実際どうなの？と興味を持っている方もそうでない方も、ぜひ参考にしてください。

秋にも、第3年次編入生・留学生のための図書館利用説明会(図書館ツアー)を実施します。みのがせませんね。たのしい図書館TA。平日16時～19時、図書館TAデスクまで。気兼ねなく、どんどん相談にきてください。



必見! 「院生の日」 「卒業体験記」

特集

医学系分館 ラーニング・ カフェへ ようこそ!

本荘地区 医学系分館では昨年11月から、学生・教職員の要望を受け、学生の主体的な学びの場として1階の閲覧室を「ラーニング commons」として運用しています。

4月からは、1年生を対象に、「ラーニング・カフェ」を開催しました。若手教員が、生物学や研究の楽しさを語り、先輩たちが学習相談に乗ってくれました。

前期のラーニング・カフェは終了しましたが、後期も予定していますので楽しみに!



第1回(4/25) 三浦恭子先生
「ハダカデバネズミの研究」



第3回(5/16) 永芳友先生
「医学を熊大で楽しむためのポイント」



第2回(5/9) 塩田倫史先生
「知られざるDNAのカタチと生命(いのち)」



第4回(5/23) 第5回(6/6)
頼りになります、先輩!【学習相談会】



試験対策も先輩のアドバイスでばっちり!

第6回(6/27) 諸石寿朗先生
「医学部卒業後のキャリアパス」



最新Topic

学生選書員 選書ツアーに行ってきました

7月9日。学生選書員の選書ツアーを行いました。書店で実際の本を手にとって内容を確認しながらのブックハンティング。書架に並んでいる本の中から、思いもかけない出会いもあり、選書の幅も広がったようです。

選書員の醍醐味はなんといっても選書、そして展示用ポップの作成。ロビー展示でもいつも好評で、すぐに貸出されています。今年度の選書員が選んだよりぬきの図書が、もうしばらくすると図書館にも入ります。ぜひ活用ください。そして次回はあなたの選書員への応募をお待ちしています。



選書ツアーの様子 @紀伊屋書店

Q&A

東光原ニュース
レターが創刊
されたのはいつ?

答えはこの号の中にあります

第12回 熊本大学『東光原文学賞』募集要項



- 応募対象：熊本大学学生（大学院生、留学生を含む）
※未発表の作品に限ります。1人1篇の応募とします。
- 審査員：本学教員等3名
- 結果発表および表彰式：2020年1月17日(金) 11時開始
※大賞候補者へは事前に連絡しますので必ず出席してください。
- 受賞作品の公開：『東光原文学賞作品集』冊子発行 及び
附属図書館ホームページで公開

詳細は 附属図書館ホームページ「募集要項」をご覧ください。
https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/tokogen_award

<問い合わせ先> 熊本大学附属図書館
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
Tel : 096-342-2212 E-mail : bungaku@lib.kumamoto-u.ac.jp

- ◆ ジャンル：小説（日本語）
- ◆ 締切：2019年11月6日(水) 17時必着
- ◆ 表彰：大賞 1篇
正賞 表彰状
副賞 図書カード 20万円分
- 優秀賞 3篇
正賞 表彰状
副賞 図書カード 5万円分

『東光原文学賞』とは

現在の中央館の敷地一帯は、旧制第五高等学校時代に“東光原(とうこうげん)”と称する運動場であったことから、東光原文学賞として、熊大生の言語力向上と創造性豊かな学生の育成、さらに地域社会における文学・文化活動の中核となる人材輩出等を目的に、平成20年度にスタートしました。

入賞作は作品集として発刊されます。また過去の入賞作品はホームページから読むこともできます。あなたも漱石先生を目指してみませんか？たくさんのお応募をお待ちしています。

図書館のできごと (2019.4~6)

- 4/5 図書館ホームページ リニューアル
- 4/10・17・24 新入生向け総合教養講座のなかで「図書館活用法」を担当
図書館探索課題「くまぼんからの挑戦状」を実施
- 4/14 「熊本地震ライブラリ」タブロイド資料の利用開始
- 4月中旬~ ゼミ対象講習会を随時開催
- 4/23 LEX/DBインターネット(法律情報データベース)講習会
- 4/25 第1回ラーニングカフェ(医学系分館)
- 5/8~9 SciFinder利用説明会(大江地区、黒髪地区)
- 5/13~24 図書館TAによる「第3年次編入学生・留学生のための図書館利用説明会」(館内ツアー)
- 6/12 福岡県立糸島高校 生徒・教職員(83名)図書館を見学
- 6/13 広島大学 職員、ラーニング commons を見学
- 6/17~21 前期データベース講習会(日本語論文・外国語論文・新聞記事)
- 6/26 文部科学省 職員、ラーニング commons を視察

< 今後の予定 >

- 7/8~12 留学生向け「本と論文の探し方」個別相談会
- 7/20 新史料発見！「松井家文書」調査報告 市民セミナー

A クイズの答

2011年1月。58号まで発行された図書館報「東光原」をひきついで創刊しました。より身近で新しい情報をお届けしていきます。

学生企画展示

中央館 1階
ラーニング commons
展示中！



文学部歴史学科 安高啓明研究室×附属図書館連携企画VII
天草と「島原大変」
～「島原大変肥後迷惑」の記録と記憶II～

古来より多くの災害に見舞われてきた人々は、被災の記憶と追悼の念を後世に伝えようとしてきました。寛政4(1792)年の普賢岳噴火。本企画展では、天草側に分布する供養塔を取り上げ、「島原大変肥後迷惑」が天草にもたらした影響と、その記憶の継承を紹介します。